

大原總一郎 父の確立した**{倉敷紡績}**を世界的な視野の経営で発展させ、文化面でも父同様広範な貢献を行なった。

おおはらそういちろう

伊藤博文暗殺1909 = 岡山県倉敷市で、倉敷紡績社長・倉敷銀行頭取であった**大原孫三郎**の長男に生れる。

明治天皇没・1912 = 3歳 :

第一次大戦始1914 = 5歳 : 倉敷町立幼稚園に入学、キリスト教会の日曜学校に通う。

民本主義・・1916 = 7歳 : 倉敷男子尋常小学校に入学、家庭教師がつく。

本格政党内閣1918 = **9歳** :

原敬首相暗殺1921 = 12歳 :

水平社結成・1922 = 13歳 : 小学校を卒業し、県立第一岡山中学校に入学。

護憲三派圧勝1924 = 15歳 : 以降5年間、中国水力電気の技師の家に下宿。

円本時代始・1926 = 17歳 : 中学校を卒業し、第六高等学校文科乙類に入学。夏期休暇中、禅寺に過す。

金融恐慌・・1927 = **18歳** :

世界恐慌・・1929 = 20歳 : 六高を卒業し、東京帝国大学経済学部に入學。

海軍軍縮条約1930 = 21歳 : 母が死去。

満州事変・・1931 = 22歳 : 父と山陰旅行、陶芸家船木道忠を知る。

五一五事件・1932 = 23歳 : 東大を卒業し、倉敷絹織に備員として入社。

国際連盟脱退1933 = 24歳 : 新居浜工場事務見習となる。河井寛次郎を知る。

帝人疑獄事件1934 = 25歳 : 倉敷絹織の社員となる。侯爵家の次女と結婚。

芥川直木賞始1935 = 26歳 : 倉敷を訪れたバーナード・リーチを知る。長女誕生。

二二六事件・1936 = **27歳** : 夫人と長期のヨーロッパ出張に出る。

日中戦争始・1937 = 28歳 :

滞欧中、吉田茂、古垣鉄郎らを知り、音楽に親しむ。

健保+総動員 1938 = 29歳 : アメリカを経由して帰国。倉敷絹織の常務取締役役に就任。棟方志功を知る。

第二次大戦始1939 = 30歳 : 倉敷紡績の取締役になるとともに、倉敷絹織の社長に就任。一時応召入隊。

大政翼賛会・1940 = 31歳 : 中国、ジャワ出張。長男誕生。

日米開戦・・1941 = 32歳 : ***倉敷紡績社長に就任。**

創価学会検査1943 = 34歳 : **父が狭心症で急逝。倉敷絹織の社名を倉敷航空化工と変更。**

年金+総武装 1944 = 35歳 : 愛染園理事長に就任。

敗戦・・・1945 = **36歳** : 空襲で倉敷航空化工工場が全焼。次女誕生。占領軍から民需転換の許可が出て、組立住宅などを生産。

新憲法公布・1946 = 37歳 : 京都に転居。水島港湾改修期成同盟が結成され、会長となる。

新憲法施行・1947 = 38歳 : 設立された日本フェビアン協会理事に就任。持株会社指定により両社の社長を辞任。物価庁次長に就任。

極東裁判判決 1948 = 39歳 : 物価庁次長を辞任、倉敷絹織社長に復帰。関西経済連合会常任理事。**ピニロン工業化の基礎を確立し、**

ピニロン生産を決定して、倉敷絹織の社名を倉敷レイヨンと変更。

朝鮮戦争始・1950 = 41歳 : 日本フェビアン研究所設立を支援。富山工場ポパール操業開始。**大原美術館20周年記念行事で、**

独立回復・・1951 = 42歳 : **マチス展、ピカソ展を開催するとともに、積極的に現代絵画の蒐集を始める。**

M-テ-事件・1952 = 43歳 : ピニロン技術開発者が第一回日本化学会化学技術賞。

TV放送始・・1953 = 44歳 : 柳宗悦、浜田庄司らと親交を深める。**倉敷レイヨンの業績が悪化するが、**

自衛隊発足・1954 = **45歳** : **新技術により、高強力ピニロン紡績系の量産を開始、業績も急速に回復。**

55年体制始・1955 = 46歳 : **モーツァルト生誕200年祝典委員会委員長に就任し、**

国連加盟・・1956 = 47歳 : **事業を企画実施。モーツァルト生誕200年記念基金を設立、理事長。日埃協会設立に伴い、会長。**

なべ底不況・1957 = 48歳 :

この前後、東大で化学繊維工業論の講義、化学繊維についての国際的活動。

美智子妃・・1959 = 50歳 : **オーストリアより友好大金賞。中央教育審議会委員。**

安保闘争・・1960 = 51歳 : **関西経済同友会代表幹事。フランスよりレジオン・ドヌール勲章。石油アセチレン工業化技術を確立。**

伊イイ病始・1961 = 52歳 : 東京麹町一番町に居をかまえる。***「化学繊維工業論」を出版、経済学博士となる。経済審議会人的能力部**

会長。柳宗悦の日本民芸館葬の葬儀委員長。日本民芸協会会長。大原美術館内に陶器館を建設するとともに、

一般公開。文化勲章・功労者選考委員会副会長と、本業以外のものが目白押し、

全国総合計画1962 = 53歳 : **かつての従業員たちとの再会のため沖縄訪問。日本民芸館理事長。税制調査会委員。第一回日米民間人会**

議出席のため渡米。中国にピニロン・プラントの輸出決定。

TV宇宙中継始1963 = **54歳** : "松下模倣"を提唱。随筆集「母と青葉木菟」を出版。農政審議会委員。

東京リ光ッ 1964 = 55歳 : 日本鷹狩クラブを設立。大原美術館理事長。人工皮革の商品名を「クラリーノ」と命名。

大学紛争始・1965 = 56歳 : フランスからアール・エ・デ・レトル勲章。北京にピニロン工場が完成。

いざなぎ景気1966 = 57歳 : 「二十一世紀の日本」委員会で専門家グループの提案コンペを提唱。カラヤン夫妻を倉敷に招く。**国民生活**

審議会会長として「将来の国民生活像」を答申。

美濃部都知事1967 = 58歳 : **がんの手術を受け、**

霞ヶ関ビル・1968 = 59歳 : ***夫人の勧めで受洗した後、没した。**